

検査 & 計測新報

No. 535

新 報 株式会社
検査&計測新報編集部

東京：☎03(3639)2163(代)
FAX 03(3639)0962 番
大阪：☎06(6266)7998(代)
FAX 06(6266)7997 番
http://www.simpo.co.jp

P・T・M・T関連最新情報

循環型経済のビジネスモデルとして

「機械装置のリファーマービッシュ事業」に挑戦！

—— マークテック(株) ——

グローバル営業部門 常務執行役員 営業本部長



マークテック(株) (東京本社) 東京都大田区大森西4-17-35 ☎03-3765-1712 は、「非破壊検査事業」並びに「マ

グローバル営業部門「営業本部長」キング事業」における製品とサービスの提案を通じて、ユーザーの品質保証活動に寄与している。

近年、第三の事業の柱構築のため、30年先を見据え、新たにM&Aを中心とした、資本提携／業務提携／技術提携等による「品質保証に関連する技術力ある中小製造企業の受け皿」技術継事業」を構築すると

市川 大介氏に聞く——

という戦略的なビジネスモデルにも取り組んでいる。また、'22年から本格的に活動を開始した化成品開発・製造の受託生産ビジネスを展開する中、X線CTの受託検査ビジネスや機械装置のリファーマービッシュ事業も立ち上げるなど、P・T・M・Tのみならず非破壊検査の「ワンストップ」ソリューションを展開する総合メーカーとしての取組みにも注力している。本紙では、同社・市川大介常務執行役員グローバル営業部門 常務執行役員に、P・T・M・T事業の動向や注力している取組み、今後の方針などについて尋ねた。

市川 1～6月の上期を振り返ると、景気全般は横ばい基調で推移している。市場を牽引する自動車分野では、ギガキャスト案件も含めてEV化に向けた動きが活性化する中、アルミ部品への対応が大きなトレンドとなっている。航空分野では、足元の稼動状況がコロナ禍前の水準まで回復している他、原価関係は再稼動に向けた動きが加速している。海外事業も総じて堅調に推移しており、インドや北米、中国市場などが牽引し、東南アジアや欧州市場も順調に着実に成長している。——どのような取組みに注力されていますか？

市川 既存のお客様に対する深耕営業を維持しつつ、中長期的な成長を見据えた新規事業にも注力している。具体的には、'22年より探傷剤や洗浄剤をはじめとする「化成品の受託生産ビジネス」を展開する中、実績を詳述したホームページからのご依頼も多く、おかげさまで成田工場のフル稼動が続いている。化学物質管理促進法（PRTR制度）の改正を背景に、環境負荷の低減に貢献する製品にも対応している。その他に、昨年4月より開始しているPT剤「エコチェック®シリーズ」の販売を通じた地球温暖化への貢献活動も継続を決定している。

装置事業では、ブラック

ライトとポタブル硬さ試験機の最新モデルが、それぞれ1年間に100台超をご用意いただいている。——今後の見通し&方針をお聞かせ下さい。

市川 業界全体の力強い回復が期待される中、全く新しい試みとして、受託検査サービスの用いる「X線CTスキャン装置」をはじめとした、機械装置販売

の市場活性化を図り、お客様が機械装置を導入しやすき環境を提供することを目的に、循環型経済のビジネスモデル「機械装置のリファーマービッシュ事業」を、7

月12日付で開始している。概要として、①当社が、装置を所有するお客様より中古装置を購入（再生可能の可否を事前確認）②中古装置の部品交換・メンテナンス

ンス等の整備を実施（※X線CTスキャン装置については、協業パートナーであるコメットテクノロジーズ・ジャパン(株)の協力を得て、中古装置の整備を実施する見込み）③当社がメンテナンス完了品（整備済再生品）を、サービス業務協

の「品質保証に関連する技術力ある小製造企業の受け皿」技術継事業 第6弾として、今年6月に子会社化した東北化工(株)との協業では、「化成品の受託生産ビジネス」において、技術的なシナジーが早々に生まれている。

高卒の新入社員や女性の営業担当者など将来を担う社員が続々と加わる中、今後とも当社の持続可能な成長を支える社員が高いモチベーションを維持できる環境の整備に努めつつ、企業理念「品質保証を通して社会に安全と安心を提供する」の実現に努めて参りたい。

——ありがとうございます——



染色浸透探傷剤「エコチェック® シリーズ」



成田工場

また、30年先を見据えた第三の事業、構築のため

「ありがとう」ございました。